第2回キャッサバワークショップ
「カーボンニュートラルな循環型社会の実現に向けたキャッサバの研究開発」

日時：2024年1月31日（水）午前10時から
会場：理化学研究所横浜事業所交流棟ホール

https://www.yokohama.riken.jp/cassava/2024/

プログラム
10:00-10:10 開会挨拶　関　原明（理研CSRS）
座長：関　原明
10:10-10:40 石谷学（CIAT） カーボンニュートラルに向けた東南アジアのキャッサバ生産-現状と今後の取り組み
10:40-11:10 内海好規（理研CSRS）カーボンニュートラルに貢献するキャッサバの分子育種研究の進捗と今後の展望
11:10-11:40 徳永浩樹（国際農研）東南アジア諸国とのキャッサバ共同研究の成果と展望: キャッサバモザイク病の脅威と対策
11:40-12:00 戸高大輔（理研CSRS）:エタノールによる植物への環境ストレス耐性強化のキャッサバへの応用
12:00-12:20 増冨祐司（国立環境研究所）: 作物シミュレーションモデルを用いた温暖化の影響・適応策評価

昼食

座長：内海好規
13:20-13:40 足立幸穂（理研R-CCS）: 適応策研究のための将来地域気候予測研究の紹介
13:40-14:00 高野俊一郎(九州大)：キャッサバコナカイガラムシの加害によるキャッサバ新芽の変形とその分子的機構
14:00-14:20 坂上潤一（鹿児島大）:鹿児島大学におけるキャッサバの農学的研究の取り組み
14:20-14:35小林功（農研機構）：キャッサバとエリサンを活用したサプライチェーンについて
14:35-14:50 仲宗根豊一（UKAMI養蚕）：価値を創造するキャッサバ栽培とエリサンの大規模養蚕
14:50-15:10 中村和之（味の素）：味の素グループと農業との関わり　～”Thai Farmer Better Life, partner” project～

休憩　20分　集合写真撮影

座長：徳永浩樹
15:30-15:50 小倉千沙 (メロス)：カーボンファーミングと土壌炭素貯留のビジネス化に向けた世界の動き
15:50-16:10 小杉昭彦（国際農研）：キャッサバ残渣からのバイオ燃料生産技術
16:10-16:30村中俊哉（大阪大/理研CSRS）：ゲノム編集技術のジャガイモへの適用
16:30-16:50大谷基泰・中谷内修（石川県立大学）：石川県立大学におけるサツマイモの遺伝子組換えとゲノム編集研究
16:50-17:10 菊野日出彦（東京農業大）：東京農業大学におけるヤムイモ研究について

総合討論
おわりに

18:00-20:00 懇親会（横浜事業所交流棟パーティールーム）